

事業番号	15 04 06	事業改善シート（28年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	発達障がい児等総合支援事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
				課・局・室	特別支援教育課		
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援			実施期間	H22 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	教職員の発達障がいに関する理解啓発を促進するとともに、発達障がいに関する専門的な知識を持つ人材による学校支援を通して、発達障がいのある児童生徒等支援を必要とする子どもたちが、安心・安定した学校生活を送れるようにする。												
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達障がいに関する一般的な理解は広がりを見せているが、日常的な支援が定着するためには、定期的・継続的な研修が必要。 ○ 発達障がいの理解が進むにつれ、発達障がいのある児童生徒支援にかかわる新たな課題が見出されるようになってきている。 ○ 個々の児童生徒の教育的ニーズに応じた支援を行うために、専門的な知識を有する支援員等による支援の必要性が高まっている。 ○ 学校だけで支援を行うのではなく、地域の支援機関・支援資源を活用した支援体制に充実が求められる。 												
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 学校教育法第81条 平成19年4月1日特別支援教育の推進について（通知）文部科学省 長野県特別支援教育推進計画											
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）												
	○ 発達障がい支援力アップ出前研修受講人数を3,550人、高等学校特別支援研究会の参加者数を350人以上とする。 ○ 地域の中核となるコーディネーターの養成（平成27年・28年の2年間をかけて）70人。												
	② 事業内容 （単位：千円）												
		項目	実施方法	H28実施内容	H27（当初）	H28（要求）	H28（予算案）						
	1. 地域の中核となるコーディネーター研修事業	直接	・地域の中核となるコーディネーターの養成（平成27年・28年の2年間をかけて）	146	146								
	2. 「発達障がい支援力アップ」出前研修	直接	・小中高校等の要請に応じ、指導主事や専門性の高い教員等を派遣し、研修を実施。	240	240								
	3. 「高等学校特別支援教育研究会」開催事業	直接	・発達障がいのある生徒の就労・進学支援等今日的な課題に関する研究会を実施。（年間3回、各回公立高校全校より1名以上参加）	127	127								
			合計	513	513		0						
事業コスト	区分（単位：千円）	26年度	27年度	28要求	28予算案	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越					項目	H26末	H27末（見込）	H28			H29目標
		当初予算	507	513	513	目標				成果	達成状況		
		補正予算											
		合計（A）	507	513	513	0							
	Aの財源	一般財源	340	344	344		出前研修のべ参加人数	3,531	3,550	3,550			
		県債					高校特別支援教育研究会のべ参加者数	350	350	350人以上			
		国庫支出金	167	169	169		中核となるコーディネーター養成研修（H27～H28）	67	70	70			
		その他	0	0	0	0							
	決算額（B）	413											
概算職員数（人）	0.20	0.20	0.20										
概算人件費	1,652	1,652	1,652	0									
概算事業費（B（A）+C）	2,065	2,165	2,165	0									
指摘事項等への対応	(指摘事項等)			(対応)									
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善													
要求からの主な変更点													